

- 1 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？
- 2 守護大名を倒し、約100年間にわたって民衆による自治が行われた現在の石川県にあたる地域はどこか？
- 3 室町時代中期、将軍の継承問題などをめぐって起こり、下剋上の風潮が広まるきっかけとなった出来事は？
- 4 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？
- 5 祇園祭が室町時代に一時中断する原因となった、京都を主戦場とした大規模な内乱を何という？
- 6 建武の新政の混乱を批判し、1334年に京都の二条河原に立てられた落書で、その当時の混乱を招いた天皇は誰ですか？
- 7 1467年、将軍の跡継ぎ問題と守護大名同士の対立がきっかけとなって起こった大きな戦乱を何という？
- 8 鎌倉幕府の滅亡後に後醍醐天皇が始め、約2年半で崩壊した天皇中心の政治を何という？
- 9 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？
- 10 正長の土一揆において、農民たちが酒屋や土倉を襲い、借金の帳消しを求めた要求を何といいますか？
- 11 首里を都とする琉球王国が、東アジアと東南アジアの間に立って行った経済活動を何といいますか？
- 12 能の母体となった、民衆の間で行われていた芸能を何という？
- 13 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は誰？
- 14 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？
- 15 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？
- 16 鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇が始めた天皇中心の政治を何というか？
- 17 浄土真宗の強い信仰で結びついた門徒たちが、室町時代に起こした武装蜂起のことを何という？
- 18 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？
- 19 世阿弥が追求した、能の基礎となる芸術的な美しさを何という？
- 20 琉球王国が都を置き、貿易によって栄えた王国の中心地はどこか？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	宋から輸入された「 <u>宋銭</u> 」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。		<u>宋銭</u>	☐
2	<u>加賀国</u> では、一向一揆が勢力を拡大し、ついに守護大名を追放することに成功しました。		<u>加賀国</u>	☐
3	8代將軍足利義政の後継者争いに、有力な大名家である細川氏と山名氏の対立が絡み、京都を中心に約11年間も続いた大乱です。		<u>応仁の乱</u>	☐
4	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に <u>定期市</u> を開かせました。		<u>定期市</u>	☐
5	約11年間にわたって京都の市街地が戦場となり、寺院や屋敷が焼き払われました。		<u>応仁の乱</u>	☐
6	しかし、この政治は急進的な改革が多く、武士の恩賞問題などが解決されなかったため、多くの不満を招きました。		<u>後醍醐天皇</u>	☐
7	この対立は1467年に武力衝突へと発展し、京都を主戦場として約11年間にわたって続きました。		<u>応仁の乱</u>	☐
8	<u>建武の新政</u> では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。		<u>建武の新政</u>	☐
9	<u>鎌倉幕府</u> は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。		<u>鎌倉幕府</u>	☐
10	土一揆において農民たちは「 <u>徳政</u> 」を要求しました。		<u>徳政</u>	☐
11	琉球王国は、中国の明との進貢貿易を軸に、日本や朝鮮、さらには東南アジア各地の産物を互いに取り寄せて売りさばく <u>中継貿易</u> を行いました。		<u>中継貿易</u>	☐
12	「 <u>猿楽</u> 」は、当時の民衆に親しまれていた物真似や軽業、踊りなどを中心とした芸能です。		<u>猿楽</u>	☐
13	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。		<u>足利尊氏</u>	☐
14	<u>北山文化</u> の特色は、伝統的な公家文化の優雅さと、力強い武家文化が融合している点にあります。		<u>北山文化</u>	☐
15	<u>二条河原の落書</u> は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。		<u>二条河原の落書</u>	☐
16	後醍醐天皇は、天皇中心の政治を行うために、公家を重用し武士の意見を十分に聞き入れない政策を行いました。		<u>建武の新政</u>	☐
17	<u>一向一揆</u> は、浄土真宗の門徒が団結して守護大名や他の宗派と戦った武装蜂起です。		<u>一向一揆</u>	☐
18	<u>書院造</u> は、床の間、違い棚、付け書院といった装飾的かつ機能的な要素が備わっているのが最大の特徴です。		<u>書院造</u>	☐
19	「 <u>幽玄</u> 」とは、単に美しいだけでなく、言葉では言い表せないほど深みのある美しさや、静寂の中にただよう気品を指す言葉です。		<u>幽玄</u>	☐
20	<u>首里</u> は琉球王国の王都として整備され、 <u>首里城</u> が置かれました。		<u>首里</u>	☐

言えなかった用語ノート